

JICA 課題別研修「道路行政」の実施支援

総務企画部 金子 祥子

1. JICA 課題別研修について

JICA 課題別研修は、JICA(国際協力機構)が実施する日本国内で行う技術協力事業の一つである。日本の発展過程における経験、知見を効果的に伝えるため、開発途上国から様々な分野の開発の中核を担う人材を研修員として日本に招き、研修を行っている。総務企画部は JICA 東京より委託を受け、平成 30 年度「道路行政」研修の企画、運営を支援した。業務について以下に記載する。

2. 平成 30 年度「道路行政」研修について

研修の目標:

道路行政に携わる研修員の道路計画、整備、維持管理に関する能力向上

期間:平成 30 年 11 月 12 日～12 月 7 日

研修員:ベナン、ブルキナファソ、コンゴ民主共和国、エクアドル、エルサルバドル、エチオピア、ガーナ、マラウイ、マレーシア、モザンビーク、ミャンマー、ナイジェリア、フィリピン、南スーダン、タジキスタン、ザンビア計16カ国、18名

研修協力機関:国土交通省、国土技術政策総合研究所、土木研究所、道路新産業開発機構(HIDO)、片平エンジニアリング・インターナショナル、NEXCO 東日本、首都高速道路

道路関係技術紹介参加企業:

酒井重工業、コマツ、鈦研工業、JFE エンジニアリング、田中衡機工業所、栄組

主な視察先:

京浜大橋維持管理現場(東京国道)、東京港トンネル(川崎国道)、舞浜立体交差(首都国道)、首都高速 1 号線更新工事現場、交通管制室(首都高速)、東京湾アクアライン(NEXCO 東日本)

日程表(概要)

開催日	講義名	講義担当機関
11/11	来日	
11/12	オリエンテーション	
11/13	カントリーレポート発表会	
	アクションプランテーマ討議	IDI
11/14-15	日本の道路行政、各種施策について講義	国土交通省
11/16	PCM 演習	FASID
11/19-22	道路交通需要予測 道路構造令 道路網計画(講義・演習) 設計概論 等講義	片平エンジニアリング・インターナショナル
11/26	ディスカッション	IDI
	道路関係技術紹介	左記各社
11/27	ITS 講義	HIDO
	京浜大橋視察	国土交通省
11/28	首都高速道路講義、視察	首都高速
11/29	舗装について講義	土研
	土工について講義	
11/30	国総研、土研施設視察	国総研、土研
	橋梁について講義	国総研
12/3	東京湾アクアライン視察	NEXCO 東日本
	東京港トンネル視察	国土交通省
	舞浜立体交差視察	
12/4	振り返り	IDI
12/4-6	アクションプラン作成・発表準備	IDI
12/6-7	アクションプラン発表会	
12/7	閉講式	
12/8	帰国	

研修の概要:

本研修は、開発途上国の政府または政府関係機関において道路計画に従事し、将来指導的立場になることが期待される中堅の行政官 18 名を対象とし、日本の道路行政に関する知識を習得することで研修員の業務能力の向上に資することを目的として開催した。

研修の前半は導入として、国土交通省から講師を招き、道路整備に係る国の政策や法令を中心として、広範な説明をいただいた。さらに民間コンサルティング企業より道路網計画策定に必要な知識について講義いただき、道路網計画を実際に作成する演習を行った。

研修後半は外部機関での講義や視察を行い、国総研や土研をはじめ、首都圏にある国道事務所の補修現場や建設現場、首都高速の更新工事現場を視察した。

例年実施している民間企業の技術紹介を行った。これは日本の道路技術紹介の一環として民間企業にご協力いただき開催している各社保有技術の発表およびブース展示である。研修員が各ブースを訪問し、各国の問題点や企業の発表技術について企業担当者と直接対話できる機会を設けた。

研修期間は1カ月以内が望ましいとの研修員からの意見をうけ、昨年より7営業日短縮し、1カ月以内で研修が終わるよう設計した。このため移動時間が長い関西方面への視察を中止したが、関東周辺で同等の目的、内容を満たす視察先を選定した。現場視察先の選定に際しては、実際の施工状況を見学するため、現在施工中の現場を候補に選定し、視察を依頼した。

アクションプラン作成のためのPCM演習や研修員同士のディスカッション等、討議を中心にプログラムを追加した。追加したプログラムは以下の通り。

- ①アクションプランテーマ討議
- ②PCM 演習
- ③ディスカッション、振り返り
- ④東京湾アクアライン、東京港トンネル、舞浜立体交差視察
- ⑤アクションプラン作成・発表準備

今年度のアクションプラン発表会ではピア評価の機会を設け、研修員間での意見交換の場を用意した。

3. おわりに

本研修の趣旨をご理解いただき、講義・視察のご協力いただいた各機関に対し、ここに深く謝意を表したい。研修員には本研修を通じて研修の技術的な側面だけ

でなく、日本の文化や生活にも親しみを持っていただいた。今後我が国との関係を構築・維持してく上でのキーパーソンとなっていただくことを期待したい。



PCM 演習

(平成 30 年 11 月 16 日、JICA 東京)



企業技術紹介 企業ブース展示

(平成 30 年 11 月 26 日、JICA 東京 講堂)



研修の振り返り・ディスカッション

(平成 30 年 12 月 4 日、JICA 東京 講堂)

上記は、平成 30 年度に実施した課題別研修「道路行政」(発注機関:JICA 東京)の結果に基づいてとりまとめたものである

